

江戸の歴史・文化の 魅力・価値の一層の活用に向けて

令和6年5月28日

東京に今も息づく江戸の歴史・文化

- 江戸前の料理や特色ある文化・芸能、史跡や寺社仏閣など、東京には、江戸の歴史や文化が有形・無形の様々なかたちで、今でも数多く息づいている。
- また、江戸の暮らしには、サステナブル、インクルーシブ、レジリエントなどの観点で、現代・未来の社会課題を解決する英知が秘められている。
- こうした江戸の歴史・文化は世界でも有数の価値を有し、観光資源として一層の活用を図っていくとともに、世界に誇る遺産として後世へと引き継いでいく必要がある。

食



寿司



小松菜 (江戸東京野菜)

技術



組紐



江戸切子

文化・芸能



のれん



浮世絵

史跡



石垣 (四ツ谷)



石垣 (飯田橋駅前)



門 (大手門渡魯門)



浜離宮

寺社仏閣



増上寺



上野東照宮



神田明神



日枝神社

インフラ



水運



市ヶ谷堀



玉川上水



青梅街道

江戸の歴史・文化の活用に関する都の主な取組

文化資源を活かした観光振興

- 地域が主体となり、**のれんや提灯、すだれ**などを活用して**江戸情緒**あふれる地域の**景観**を創出。また、イベント等を通じて地域の認知度向上や集客力を強化（令和6年度新規）
- **江戸・東京の歴史・文化**を活用し、隠れた名所等を巡る**新たな観光モデルコース**の作成などにより、旅行者の誘致を推進（令和6年度新規）
- 伝統芸能や伝統工芸、神社仏閣や歴史的建造物などの**日本文化**を活用した、**地域における観光振興**の取組を支援
- **地域固有の歴史・文化**を土台に形作られた自然・景観・伝統工芸など、**地域ならではの資源**を活用した自治体の新たな取組を支援
- 東京の観光資源となる**建物や技術等**を保有する観光関連事業者が行う、**維持・保全**のための取組を支援
- **宿泊事業者**が企画する、**外国人向けの日本文化等の体験プログラム**の作成を支援



のれんを活かした景観（イメージ）



能公演、和楽器・能体験ワークショップ等
（町田市）

江戸の英知の発信、デジタル技術を活用した江戸の魅力発信

- 「歴史・文化を軸にした東京の魅力発信に係る懇談会」を設置し、現代にも通じる江戸のサステナブルな英知を発掘するとともに、効果的な発信の方法・工夫などを検討
- 懇談会での意見も踏まえ、特設ホームページなどにより、日本語・英語で、江戸の庶民の文化、風習、英知、現代の東京に残る江戸の遺構等を発信
- SusHi Tech Tokyoの会場や、都庁展望室などにブースを出展。江戸の英知をクイズ形式で学べるコンテンツ「江戸の英知照覧」等を活用
- メタバースを活用し、東京の多彩な魅力に触れる「Virtual Edo-Tokyoプロジェクト」において「Edo Area」を設置
- 現代の東京のルーツである江戸のシンボル「江戸城」をデジタルで再現し、江戸城の散策を通じて江戸の文化を体験できる場を創出



特設ホームページ



江戸の英知体験イベント

Virtual Edo-Tokyoプロジェクト



江戸・東京の歴史・文化に関する資料の収集・展示等

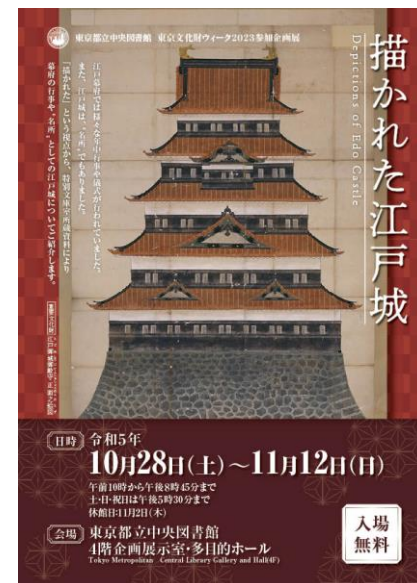
- 「江戸東京博物館」は、東京を代表する文化施設として、江戸から現代に至る約400年間を中心とする歴史・文化を、貴重な実物資料や、復元模型・体験型資料を用いて紹介（現在、大規模改修工事のため休館中）
- 令和4年4月には、体験型アプリ「ハイパー江戸博」をリリース。オンラインで江戸・東京の暮らしや文化、歴史を学べるコンテンツを提供



江戸東京博物館

都民等が文化財に触れる機会の提供

- 多くの都民や旅行者に文化財を身近に感じていただくため、毎年秋に「東京文化財ウィーク」を実施
- 都内の文化財の公開事業と、文化財めぐりや特別展、講座などを行う企画事業を実施
- 令和5年度は、企画展「描かれた江戸城」を東京都立中央図書館で開催。城のシンボルである天守を描いた重要文化財「江戸城造営関係資料」等を展示するほか、浮世絵で江戸幕府の行事や儀式を紹介



企画展
「描かれた江戸城」
ポスター

江戸から伝わる匠の技などの魅力の発信

- **東京の風土と歴史**の中で育まれ、時代を越えて受け継がれた**伝統的な技術・技法**により作られた工芸品について一定の要件を備える42品目を、**東京都伝統工芸品**に指定
- **伝統工芸品の魅力**を発信するために、ポップアップイベントの「**伝産ショールーム**」、都内百貨店での催事「**東京都伝統工芸品展**」、**デザイナー等との連携**により現代に合う**新たな伝統工芸品の開発**と**国内外への発信**をおこなう「**東京手仕事**」プロジェクトなどを実施
- 「**江戸東京きらりプロジェクト**」として、東京の産業分野における**伝統の技**による**優れた産品**（「**宝物**」）の**発掘、磨き上げ、世界への発信**などを実施



伝産ショールーム



江戸東京きらりプロジェクト
海外展示会への出展

有識者会議での主な意見

- 「東京の観光振興を考える有識者会議」では今年2月に、歴史・文化を活かした観光の促進をテーマのひとつとして議論
- 江戸の魅力や、観光資源の保全など、様々な観点でご意見をいただいた。

- ・ 暮らしの知恵とまちづくりと建築といろいろなものが一体化された**江戸の文化は世界にも例のない特別な事例**であることを、アカデミックな視点も入れながら発信できるとよい。
- ・ **江戸の歴史を本場で味わえる**ような、そういうソフト（コンテンツ）をもっと提供できるとよい。
- ・ **江戸博は非常に人気**。江戸博が改修工事で閉じていると、代わりに深川の江戸資料館が混んでいると聞くぐらいなので、**外国人の方にも、江戸の歴史・文化は非常に関心が高い**のだと思う。
- ・ 江戸という言葉は、外国人にはそれほど知られていない。**江戸を認識してもらうためには、東京イコール江戸であることのPRが大事**
- ・ インバウンド誘客に向けて食が一番影響力が大きい。江戸時代の参勤交代を通じて日本各地の食材や料理が集まったことで、**バラエティに富んだ食文化**が江戸で花開いた。これをPRするべき。
- ・ 江戸といえばお寿司、日本といえばお寿司であり、**寿司を東京・日本固有のものとして、GI（Geographical Indication）を取っていく**ことも考えられる。
- ・ 相続税等によって消滅危機のある**歴史的建造物**も多く、それらの**保護・保存**の強化が必要

※ 一部、今年2月以前の有識者会議での意見を含めて記載

議論の進め方等

部会における議論の目的

- ◎ 東京の魅力を国内外にPRするアイコン・キャッチフレーズである「Tokyo Tokyo Old meets New」は、江戸から続く伝統と最先端の文化が共存する東京の特色を表現
- ◎ 部会での議論を通じて「江戸から続く伝統」の魅力を掘り下げ、東京のブランディングの強化、文化資源を活用した観光振興の促進につなげていく
- ◎ 世界遺産等という目標を見据え、江戸の魅力を発掘・抽出していく。



主な論点

- ・ 有形・無形の様々な「江戸の歴史・文化」を、インバウンド等の誘客において、どのように活用していくべきか
- ・ 旅行者に対し、江戸の歴史・文化の魅力をどのように伝えることが有効か
- ・ 観光資源として長く活用していくために、保存・保全に係る課題は何か
- ・ 後世に継承していくべき貴重な遺産として、どのようなものが考えられるか など

参考：「未来の東京」戦略 version up 2024（抜粋）

東京のプレゼンス向上

世界中から人々を呼び込む、魅力的な観光都市へ

戦略15

インバウンド需要を積極的に呼び込むため、旅のテーマや目的の多様化に応じた観光資源の開発・磨き上げや東京の魅力発信などを強力に推し進め、一層の成長産業へと進化

魅力の磨き上げ



◆アニメツーリズムの推進

- 世界中に根強いファンを持つ日本のアニメコンテンツの魅力を「アニメ東京ステーション」から発信
- 都内の回遊を促すため、アニメのスポットや周遊ルートに掲載したマップを作成



◆ナイトタイム観光の活性化

- 日本の伝統的な花火に加え、デジタル技術等を活用したナイトイベントを開催し、全世界に発信
- 夜間・早朝に行われるイベント等の実施支援やウェブサイト等を通じた情報発信によりナイトタイムが充実する環境を整備



◆「コト消費」の需要を後押し

- 東京の美容サービス等を観光コンテンツとして活用するための環境整備を支援するとともに、モニターツアーを実施し、美容体験型観光を普及・促進



◆歴史・文化の魅力向上

- 江戸の歴史・文化を「世界遺産」に



プロモーション



◆新たな市場を開拓

- 中東、インドなど今後訪都旅行者の増加が見込まれる市場をターゲットに、現地の広告媒体やメディアを活用したプロモーションを強化
- 観光消費の拡大や訪都旅行者の増加に向け、海外都市において現地の旅行事業者やメディア等に対し、文化体験などを通じて東京の魅力を発信



◆東京が誇る多彩な食を発信

- 東京が誇るハイレベルな食の魅力を効果的に発信するため、海外のメディア等を対象に調理実演などのプレゼンテーションイベントを開催



◆東京と全国の魅力発信拠点を整備

- 江戸東京きらりプロジェクトをはじめ、東京と全国の魅力国内の旅行者等へ発信する拠点を新たに整備



世界中の人々を惹きつけ、誰もが何度でも訪れたい東京へ

観光人材・受入環境整備



◆DXによる生産性向上

- 人材不足に悩まされている宿泊施設に対し、省力化・業務効率化を目的としたロボットのトライアル導入を支援
- 人手不足等の課題解決のため、旅行事業者のデジタル技術導入を支援
- IT等専門家の助言を受けて事業者が行う業務効率化等を後押し



◆観光産業を担う事業者を支援

- 観光人材の確保・定着・育成を支援し、増加する観光需要への受入対応力を強化
- 都内宿泊施設が行う経営力向上に向けた取組を支援



多様な観光



◆アクセシブルツーリズムを充実

- 年齢や障害の有無に関わらず誰もが安心して楽しめる、自然体験型観光への取組を支援
- ドローンを自ら操作することでリアルな観光を楽しめるツアーづくりを支援



◆MICE誘致の競争力をさらに強化

- サステナビリティに配慮した取組方法を提案するショーケースイベントを実施し、サステナブルなMICE開催を推進
- 東京が持つ多様な魅力を生かすため、ユニークバリューによるMICE開催を支援

